

除染装置スラッジ抜き出しに関する現在の状況について

2021年1月25日



東京電力ホールディングス株式会社

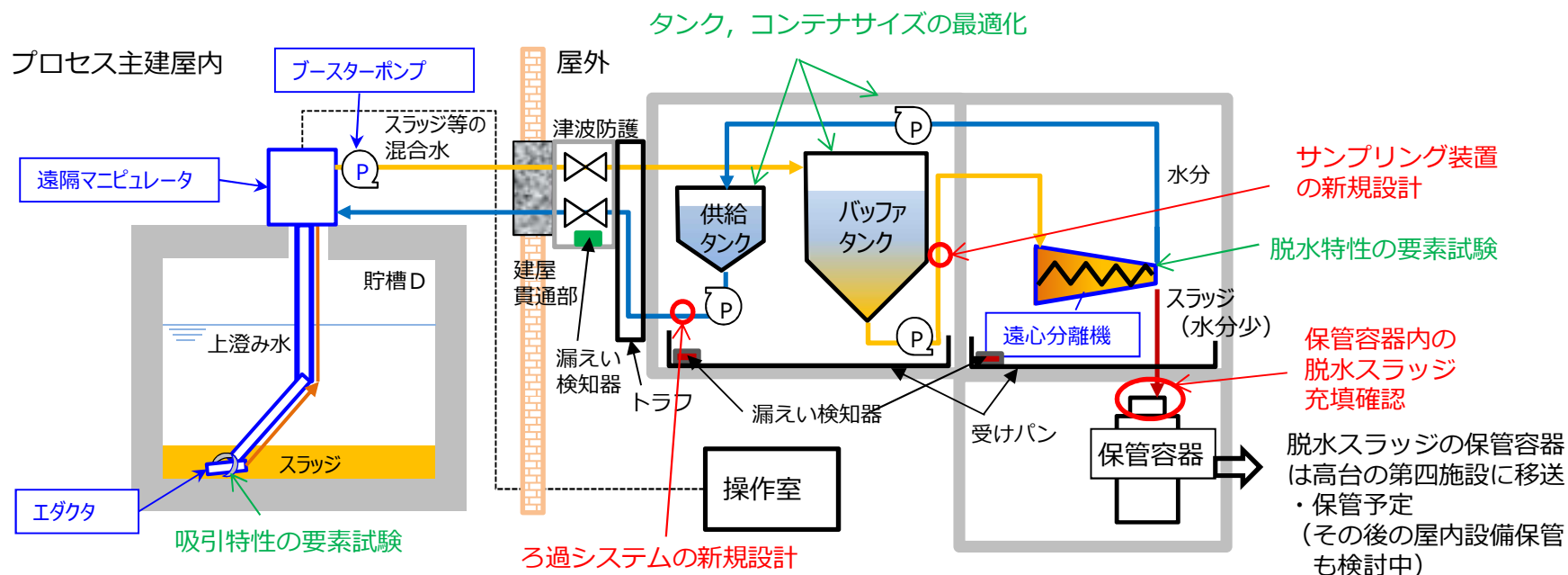
- 除染装置スラッジは、プロセス主建屋近傍の屋外設備内にて、保管容器に充填し高台で保管する計画として廃スラッジ回収施設を設計中。
- 提案元のメーカーと設計を進めていたが、許認可対応や設備全体における系統設計の成立性といった点において、当社の品質要求を満足せず、完了目途がたたないため、設計先を別のメーカーに変更。設計仕切り直しに伴い、抜取り時期を2021年度から2023年度に計画変更した。



- 現在、設計工程の短縮を図るべく、新規設計ではなく、以下方針のもと設計を見直しているところ。
 - ✓ 提案元メーカーの設計情報をベースに、系統設計から機器設計へ進める流れで設計を見直す。
 - ✓ 遠隔マニピュレータと遠心分離機による抜き出しコンセプト等、適用可能な設計は踏襲する。
 - ✓ 上記に基づき、設計の補完方針を定め、基本設計、詳細設計を進める。

2. 廃スラッジ回収施設設計の現状

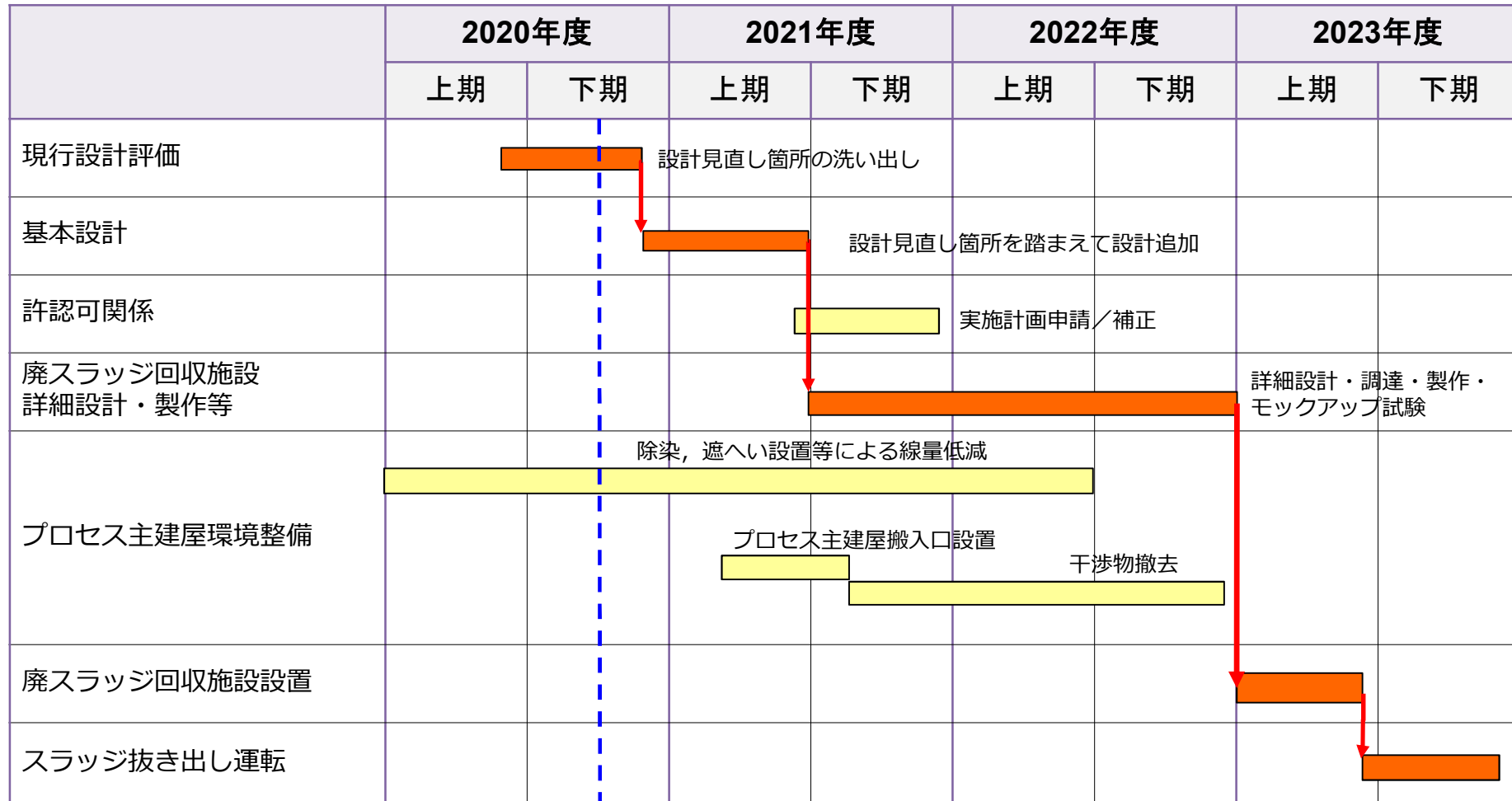
- 基本設計の補完方針案を取り纏め中であり、現時点での主な設計見直し結果は以下のとおり。



主な設計見直し状況（取り纏め中）	
適用可能な設計	主要機器であるエダクタ、遠隔マニピュレータ、ブースターポンプ、遠心分離機の機器単体の設計は、適用可能と判断。
系統設計を成立するために一部補完が必要な設計	<ul style="list-style-type: none"> エダクタ、遠心分離機の実験によるデータ拡充。（試験により実効性は確認できていたが、適用範囲が限定的であった。） 系統設計結果を踏まえた、タンク、コンテナサイズの最適化設計、各機器の取り付け部の設計が必要。
系統設計を成立するためにほぼ新規が必要な設計	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング装置の設計（保管容器内のインベントリ把握を目的）。 遠心分離機を通過する微粒子の除去を目的としたろ過システムの設計。 保管容器内の脱水スラッジ充填状態を確認する手段の設計。

3. 廃スラッジ回収施設

- 基本設計の補完方針案を踏まえ、2021年3月より基本設計を実施予定。
- プロセス主建屋環境整備は、建屋1階フロアの線量低減を実施中であるが、配管等の干渉物撤去用の遠隔重機搬入を目的とするプロセス主建屋搬入口設置工事についても2021年度上期より、実施予定。



■ : クリティカル工程